

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号	0033		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材							
担当教員	小谷 進						
到達目標							
(1)工学分野に関する内容の英文を読み、日本語に要約できる。(D2-3) (2)技術英語にふさわしい英単語を状況に応じて適切に使用し、表現することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 1. 工学分野に関する内容の英文を読み、日本語に要約できる。(D2-3)		□工学分野に関する内容の英語を読み、状況に応じた単語を用いて日本語に訳すことができる。		□工学分野に関する内容の英語を読み、日本語に訳すことができる。		□工学分野に関する内容の英語を読み、日本語に訳すことができない。	
評価項目2 2. 技術英語にふさわしい単語を適切に使用して、英語で表現することができる。		□技術英語において文章様式、単語を理解し、状況に応じた適切な単語を用いて英語で表現できる。		□適切な単語を使用して、英語で表現できる。		□適切な単語を使用して、英語で表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
実践指針 (D2) 実践指針のレベル (D2-3) 【本校学習・教育目標 (本科のみ) 】 4 【プログラム学習・教育目標 】 D							
教育方法等							
概要	グローバル化によって工業分野においても最新情報の収集、研究開発の成果を発信は英語が標準語となってきた。学術分野で使用される英語は簡潔で明瞭な文章が求められる。日常で使用される英語との違いを学び、数学や物理学、工学に関する英文読解によって工業英語の基礎を習得する。						
授業の進め方・方法	日本語では同じような意味であっても、英語では状況に応じて使い分けが必要な技術英語で頻出動詞を解説し、その動詞を含んだ英文を読解する。 10単語程度の短い文章から、200単語程度の文章までを段階的に単語数を増やして、技術英語に慣れていく。						
注意点	定期試験の成果を80%、課題を20%として評価する。授業目標1 (D2-3) が標準基準 (6割) 以上で、かつ科目全体で60点以上の場合に合格とする。評価基準については、成績評価基準表による。 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス			授業概要・教育目標、授業概要、評価方法と基準等の説明	
		2週	工業英語の基礎			一般英語と工業英語の違いについて説明できる。	
		3週	工業英語で頻出の動詞、文法 (文章の形式) の説明と英文読解			10語程度の英文読解できる。	
		4週	工業英語で頻出の動詞、文法 (文章の形式) の説明と英文読解			10語程度の英文読解できる。	
		5週	工業英語で頻出の動詞、文法 (文章の形式) の説明と英文読解			10語程度の英文読解できる。	
		6週	工業英語で頻出の動詞、文法 (文章の形式) の説明と英文読解			10語程度の英文読解できる。	
		7週	中間試験			100語程度の技術英文を読み、設問に解凍できる。	
	8週	答案の返却					
	2ndQ	9週	短文読解、短文作文			50語程度の英文読解できる。 状況に応じて、適切な英単語動詞を選択できる。	
		10週	短文読解、短文作文			50語程度の英文読解できる。 状況に応じて、適切な英単語動詞を選択できる。	
		11週	長文読解、短文作文			100-200語程度の英文読解できる。 単語を並べ替えて、英訳できる。	
		12週	長文読解、短文作文			100-200語程度の英文読解できる。 単語を並べ替えて、英訳できる。	
		13週	長文読解、短文作文			500語程度の英文読解できる。	
		14週	長文読解、短文作文			500語程度の英文読解できる。	
		15週	まとめ			英語で記述された論文または取扱説明書を読み、内容を要約できる。	
16週		解答の返却、授業アンケート					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0